

授業デザインシート

1年	教科	数学	授業者	今村 光輝(1年1組) 桑代 純也(1年2組) 元山 亘(1年3組)	本時	10/10	
単元・教材名		資料の分析と活用			場所	1年1組教室 1年2組教室 1年3組教室	
指導目標		・問題を解決するために、資料を収集して整理し、資料の傾向をとらえ、説明しようとしている。【関心・意欲・態度】 ・資料の分布のようすや特徴をもとにして、資料の傾向をとらえ、説明することができる。【見方や考え方】					
「主体的・対話的で深い学び」を目指す共通実践事項							
①基礎基本の確認 ②声出し・先読み ③学び合いの学習 ④自分の言葉で説明 ⑤一問のチャレンジ							
	主な学習活動		場 時間	共通 実践	指導上の留意点・形成的評価【●】		
導入	1 既習事項の確認を行う。		一斉 5分	①②	・ 既習事項を声に出させて確認させる。		
	2 学習目標を確認する。 学習目標 資料を読み取り、傾向を捉えて説明しよう。		一斉 2分	②	・ 課題プリントを配布し、学習目標を提示する。		
展開	3 学習課題①を解く。 度数分布表やヒストグラムから代表値を求め、代表値を用いて理由を説明する課題。		個 4分	①	・ 見通しをもつ。 最頻値、平均値、中央値 相対度数 ヒストグラム		
	4 自力解決できなければ、周りに尋ねて解決を図る。		全 6分	③④	・ 全員起立させ、分からない生徒が分かる生徒のところへ行って解決を図らせる。 【●】 ※1 人に聞けない生徒へは、解決した生徒とつなぐようにする。 ※2 聞かれた生徒は丁寧に説明させるようにする。		
	5 全体で確認する。		一斉 3分	④	・ 全員が解決し着席したら、全体で確認する。		
	6 学習課題②を解く。 与えられた資料を分析し、判断の根拠を示しながら説明する課題。		個 10分	⑤	・ 学習課題①の流れで進めていく。 ※ 必要に応じてヒントを出し、意欲的に取り組めるようにする。		
	7 自力解決できなければ、周りに尋ねて解決を図る。		グループ 8分	③④	・ 教師はできるだけ話さずに、生徒同士で解決できるようにさせる。【●】 ※ 1, 2を意識させる。		
	8 全体で確認する。		一斉 6分	③④	・ 生徒に説明をさせる。		
	9 再度自分の意見を考える。		個 3分	④	・ 各グループの発表を受けて、自分の意見を再度考え直す。		
	終末	10 本時のまとめをする。		一斉 3分	④	・ 本時の振り返りをする。	
		ゴール 代表値や相対度数などの根拠を示して説明できる。					